

平成23年度 事務事業評価シート（平成22年度実績分）

事務事業名	浦戸湾・七河川一斉清掃事業			部課コード	1020	予算事業科目	010201120132	事	複	区分	継続	
所管部署	担当部局	市民協働部	部局長名(2次評価者)	森田 恵介		個別事務	一部	010201120132	-			
	担当部署	地域コミュニティ推進課	所属長名(1次評価者)	須内 宗一			一部	010201120131	-			
	電話番号	088-823-9080	E-mail	kc-10200@city.kochi.lg.jp					-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成23年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	大綱	01 共生の環	政策基本方針	緑や水辺などの自然は人々に安らぎを与え、多様な生態系を育む場ともなります。 市域の森林や川・海の貴重な自然を守り育てるとともに、自然と人の共生文化の基盤となってきた里山、農地などの二次自然については、貴重な自然と位置付け、その保全に取り組みます。さらに、市街地においては、身近に自然に親しむことができる空間の創出を図るなど、森・里・海を通じた環境保全に取り組み、自然豊かなまちづくりを進めます。						
款	02 総務費	政策	02 自然豊かなまちづくり								
項	01 総務管理費	施策	04 海洋・河川環境の維持・保全								
目	12 市民活動費	区分	03 浦戸湾・七河川一斉清掃								

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	浦戸湾・七河川一斉清掃実施要領、高知市民憲章	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民		
意図	どのような状態にしていくのか	本市の「美しいまちづくり」の一環として市民総参加のもと、浦戸湾及び浦戸湾に流れ込む七つの河川の一斉清掃を行い、水質の浄化、親水、美化意識の高揚を図り、河川及び浦戸湾の再生を図る。		
手段	事業実施体制等	高知市民憲章推進協議会、高知市、高知県及び高知市教育委員会並びに町内会及び市民団体等により、浦戸湾・七河川一斉清掃実行委員会を組織し実施。	事業開始年度	平成元年度
			事業終了年度	未定
活動内容	どのような事業活動を行うのか	市民総参加による、河川及び海岸の清掃活動		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	清掃活動によるゴミ収集量	直接的な環境美化効果として指標に設定するもの。	
	B	清掃活動への市民の参加数	市民への環境美化啓発として実際に清掃活動に参加した人数が重要な指標となることから設定するもの。	
	C			

4 事業の実績等

			20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標	114.00 t	112.00t	110.00t	108.00t	※平成22年度は雨天のため延期した日程で実施	
		実績	111.23t (97.6%)	108.95t (97.3%)	97.09t (88.3%)			
	B	目標	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人		
		実績	10,564人 (96.0%)	8,718人 (79.3%)	7,083人 (64.4%)			
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,539	930	1,024	1,295	※財源内訳のその他の500千円については、高知中央広域市町村圏事務組合の市町村圏広域活動事業補助金である。	
		財源内訳	国費 (千円)	0	0	0		0
			県費 (千円)	0	0	0		0
			市債 (千円)	0	0	0		0
			その他 (千円)	500	465	500		500
			一般財源 (千円)	1,039	465	524		795
	翌年度への繰越額 (千円)	0	0	0	0			
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,500	1,480	1,440	1,440	※人件費については、地域コミュニティ推進課職員分のみを記載し、清掃実施当日の動員等によるその他の職員の時間外勤務手当等は除外している。	
		正規職員 (千円)	1,500	1,480	1,440	1,440		
		その他 (千円)						
人役数 (人)		0.20	0.20	0.20	0.20			
	正規職員 (人)	0.20	0.20	0.20	0.20			
	その他 (人)							
総コスト= ① + ② (千円)		3,039	2,410	2,464	2,735			
市民1人当たりコスト (円)		9	7	7		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		340,695	339,714	339,130				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

次世代を担う子どもたちの参加を促す目的で、各小中学校等にポスター掲示依頼を行っているものの、子どもの参加者数の増加には至っておらず、周知方法や、参加を促す新たな取り組みを検討しなければならない。また、参加者に配布する企業協賛による清掃備品（ゴミ袋、軍手等）に加え、参加市民からは、鎌や手ぬぐいの配布要望もあり対応を検討すべきである。さらに、市民に一定浸透してきたイベントであり、全庁的に市民との協働の取組みとして部局の枠を超えた実施体制の確立が必要である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 8 月 25 日）

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	本事業は、浦戸湾及び同湾にそそぐ七河川の再生をめざした活動として市民との協働により実施しているものであり、本市総合計画における「海洋・河川環境の維持・保全」の趣旨に合致している。また、本市の美しい自然を次世代に引き継ぐという市民ニーズは事業開始時より継続して変わらないものと認識している。	
		B (3) 一部結びつく				
	C (1) あまり結びつかない					
	D (0) 結びつかない					
② 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B				
	B (3) 横ばいである					
	C (1) 少ない、減少している					
	D (0) ほとんどない					
事業内容の有効性	③ 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	成果指標としてのゴミ収集量は年々減少傾向を示している。河川流域の地元市民からも河川の美化が進んでいるとの情報もあり、ゴミ収集量の面からは概ね達成しているといえる。しかしながら、参加人数については、日程延期（平成22年度）の影響もあるが減少傾向を示しており、市民への環境美化等の意識啓発の面から、更なる参加の呼びかけの強化の必要性は認識しているものの、強制的な参加とならないよう、事業告知及び事前の参加呼びかけの手法を工夫すべきところはある。	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
④ 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B				
	B (3) 概ね妥当である					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 見直しが必要である					
事業実施の効率性	⑤ 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	本事業は、市民及び高知市建設業協会等のボランティア及び各企業の協賛（高知市民憲章推進協議会への協賛）により実施に努めており、すでに民間活力が十分に活用されている状況にある。また、ゴミ収集について、本市環境部における対応に加え、高知市建設業協会のボランティアによる参加に頼っている状況であることから、これ以上の清掃区域の拡大等による事業規模の増大及び類似事業との統合は望めない。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
⑥ 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A				
	B (3) 概ね効率的にできている					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 十分可能である					
事業実施の公平性	⑦ 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	浦戸湾及び七河川流域の環境美化活動であり、また、次世代を担う子どもたちも含まれた、市民全体の環境美化意識等の啓発を目的としていることから、受益者の偏りは存在しないものと考えている。	
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
⑧ 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A				
	B (3) 概ね適正な負担割合である					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 検討すべきである					
総合点	17.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 6 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	浦戸湾・七河川一斉清掃により収集されるゴミの収集量は、平成22年度で97.09 t（前年比▲11.86 t）となっており、近年は減少傾向にあるものの、未だ浦戸湾及び七河川の再生は果たされていないものと認識している。また、次世代の高知市を担う小中高生への参加呼びかけにより、更なる環境美化意識の啓発を行い、「美しいまち」の実現、「自然豊かなまちづくり」に向け継続的に本事業を実施すべきものと考えている。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--